



かずお いとう初男原義会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

佐原病院は地域医療の中心

2月県議会一般質問に登壇



原稿なしで熱弁をふるう伊藤昌義

定されるなど、地域医療を中心としての役割を果たしています。

千葉県は医師の数がワースト3位です。人口10万人当たりの医師数は183人です。隣の東京都は305人です。看護師も同じです。千葉県は人口10万人当たり845人ですが、全国平均は1188人です。これからは、地域医療の考え方を変えてもらわなければなりません。国や県も地

応するため、地域包括ケアシステム構築の要となる在宅医療の充実などが必要であり、総合診療医や訪問看護師の果たす役割は重要だと考えています。

ふるさとと県政に関するご要望をお寄せください。

いとう和男 県議事務所

TEL・FAX
043-202-2301

〒260-0855 千葉市中央区市場町9-1 メゾンフタガワ101
12jimin221201@gmail.com

2月議会終了後、千葉県知事選挙が行われていましたので、県議会リポートの発行を控えていました。

病院は歴史的建物

ました。老朽化し、歴史的な建物です。成田市から東側には、医師も来るがいない。この地域の医師不足には著しいものがあります。これらにどう対応していくか

慢性的な医師不足

伊藤議員 今、医師不足は慢性的です。国も県も地域も医師不足の解決を言っていますが、大もとほ医域とともに、トータルで地域医療を提供しなければ、県民の命を守れないと考えるが、どうか。

んでまいります。

自民党県議団の中でも重鎮とされ、県政の中心的な存在の香取市選出の伊藤和男（いとう・かずお）県議は、2月県議会の一般質問に登壇し、森田知事の政治姿勢を問うとして質疑を行いました。伊藤県議は、3選を目指して立候補する姿勢の森田知事に対し、政策立案に当たっては県議会や市町村との連携図るよう直言したほか、地

元の県立佐原病院の老朽化対策を含め、慢性的な医師不足への対応について、県民・市民の目線から忌憚のない意見を述べました。また、県内の産業構造の変化をとらえ、産業面や雇用・法人税の税収の在り方などで、東京一極集中を批判し、「千葉県ファースト」を提唱して議会の注目を集めました。伊藤県議の質疑を特集しました。

設置するなど、地域包括ケアシステムの構築に向けて重要な役割を担っています。しかしながら、近年は施設の老朽化や医師不足などの課題を抱えており、県としては、佐原病院がその医療機能を十分に発揮できよう、しっかりと対応してまいります。



森田知事ら執行部に語りかける伊藤県議

産業、雇用、税収面での

「千葉県ファースト」を提唱!

知事の政治姿勢を問う

が一体となって政策を立て、そして実現していくことが重要だと思います。市町村は市町村の、県は県の、国は国の役割を果たさなければならぬと思います。知事より偉い市町村長が出てきています。

の場で議員の皆様と真摯に議論を重ね、「県民のくらし満足度」を高める政策を形成していくたいと考えています。また、本格的な少子高齢化社会が到来し、地域の活性が求められるこの時代において、千葉県全体の活力を高めていくためには、住民の暮らしに密着した市政と、広域的な自治体で

のは、ロボット化であり
A.I.です。先のダボス会議
でも第4次産業革命の中
で、世界はどう動くのかが
伊藤議員 次に東京オリ
ンピック・パラリンピックです
が、東京都は誘致の際は王
葉県に協力を願ってき

域資源を生かした地場産業の振興など幅広い取り組みを進めてまいります。

財政事情の違い

み、水道施設の老朽化なく、水道を取り巻く環境が大きく変化する中、水道事業は、将来にわたりお客様に満足いただける水を安定的にお届けすることだけを考えています。

このため、水道局では、年度からスタートさせた「葉県営水道事業中期経営計画」に基づき、「強靭な上

なお、広域化あるいは水による元化などについてですが、現在、国では水域連携を推進する内容を取り込んだ水道法改正の動きがあります。

当局としては、これら動きや知事部局における内水道の在り方の検討などを注視してまいりたいと、

を踏まえて、今後、さまざま
な動きが出てくることも
考えられます。

当局としては、それらの
動向を注視するとともに、
県内人口の約半数に当たる
300万人のお客様に水を
供給する県内の中核的水道
事業体として、その際には
必要な役割を果たしてまい
りたいと考えています。

議会、市町村との連携

伊藤議員 最近新聞報道を見ると、知事は市町村に顔を向けていない、無視しているというようなな事が掲載されています。知事は一つの言葉で

どうですか。これは権力ですか。それだけのポジションをきちんと守り抜くことが必要なことです。野球でもみんながやることです。

県も常に「千葉県アテナート」を考えていく必要があると思います。なぜなら千葉県は京葉工業地帯に鉄鋼や石油コンビナートがあり、三つの立場で、

業の活力を高めるためには、急速に進む技術革新や社会構造の変化を見据えるとともに、新たな発想による事業展開を促進していくこと。

県水道局の在り方を問う

伊藤議員 これからのは
水は、どうあるべきか。各

道の構築」安全な水の供給「お客様からの信頼の元、果ててこそ水の供給を守り、

えていきます。



再質問に立つ伊藤県議

産業構造変化の中での 地域活性化

ある県とが連携を図り、且
として実効性の高い政策を
立案し、実施していくこと
が重要だと考えています。

それが県民のためになります。必ずしも市長の意見寄り添わなくてはいけないということではあります。地域の意見をとらえて、県議会議員の意見を聞きながら、この県議会の場につづけていただきたい。

県と議会が一体で政策形成

ました。しかし、これは当然
京都が中心に負担すべきで
あると思います。

格差があるので
す。これからは、
千葉県の税収
を確保するた
めにも、議会

A photograph showing several people seated in rows of blue chairs in what appears to be a lecture hall or conference room. In the foreground, a man wearing glasses and a dark suit is looking down at a book or document he is holding. To his left, another person is also looking at a book. The background shows more people seated, and the overall atmosphere suggests a formal event or meeting.



傍聴席に詰めかけた支援者の皆さん